

令和5年度 高瀬公民館(高瀬地域づくりセンター)

事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

令和5年度は、学びの拠点と地域づくりの拠点の2つを両立させ、地域住民の学習意欲の向上と地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。子どもからお年寄りまでの多世代から愛される公民館を目指します。

- (1) 地域課題の解決に向けた学習機会の提供と地域活動の支援
- (2) 多世代を対象とした主催事業の企画運営と公民館利用の促進
- (3) 各種関係機関及び団体等との連携及び新たな事業の展開
- (4) 学習環境の整備や学習情報等の提供
- (5) 地域住民一人一人の健康増進や多世代交流の機会の創出
- (6) 地域住民(多世代)が利用しやすい公民館施設の運営、環境整備及び安全管理

(2) 重点施策

- 地域住民の幅広い年齢層の利用促進を図る教室運営を計画、実施します。
- 子育てを支援し、世代間交流を図ることにより地域の活性化を推進します。
- 地域の各種団体、機関と連携を深め、地域づくり活動を推進します。

2 事業実績

○主催教室

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	おもしろ 体験教室	風船実験	7月	7人	1	主催
		海のハーバリウム	8月	13人	1	主催
		プログラミング教室	11月	7人	1	主催
		バレンタイン目 お菓子作り教室	1月	2人	1	主催
		冬の天文教室	2月	中止	1	主催
高齢者	かぶら 教室	サギ撃退教室	5月	3人	1	主催
		健康ウォーク	5月	12人	1	主催
		健康体操 in 大島鉱泉	7月	22人	1	主催
		熱中症予防講座	8月	18人	1	主催
		うたごえ喫茶たかせ	8~2月	287人	12	主催
		体操教室	1月	11人	1	主催

地域住民	趣味の 教室	クラフト教室 ハンドバック	6・7月	76人	4	主催
		秋のクラフト教室	10・11月	60人	4	主催
		千支のあみぐるみ	12月	5人	1	主催
		新そば打ち	12月	16人	1	主催
		そば打ち体験	2月	14人	1	主催

○共催事業

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生～ 大学生	みんなの おうえん団	無料学習会	3月	50人	1	『NPO 法人みんな のおうえん団』 共催

○地域行事

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
地域住民	体育行事	かぶらスポーツ祭 グラウンドゴルフ・ マグネットダーツ	5月	150人	1	共催
		高瀬スポーツフェステ ィバル	10月	120人	中止	共催
	防災行事	高瀬地区避難訓練	7月	全世帯	1	共催
	納涼祭	高瀬ふるさと広場	8月	2000人	1	共催
	敬老事業	記念品配布	9月	1200人	1	共催
	どんど焼き	高瀬地区どんど焼き	1月	350人	1	共催
	文化祭	高瀬地区文化祭	3月	500人	1	共催
	情報提供事業	公民館報配布	4～3月	全戸	12	主催
		たかせ小中かわら版 配布	12月～3月	小中学生 保護者	4	共催

3 主な事業紹介

(1) 事業名「かぶら教室」

①ねらい

身体を動かしたり生活につながる知識を学んだりすることで、高齢者の生活改善と参加者同士の交流を図る

②事業内容

講師の指導のもと、体操やウォーキングといった軽運動や自身の生活につながる内容の講座を開催する。これらを通して自分の生活をより豊かにし、参加者同士が交流を楽しむことで、高齢者の生きがいづくりの場を提供する

(2) 事業の評価・反省

高齢者にとって、公民館は身近な生涯学習の場であることや、参加者同士で交流を持てることから、主催教室に参加し生きがいを感じてもらいたいという目的で「かぶら教室」を実施できた。

令和5年度は「健康ウォーク」「健康体操」といった軽運動や「サギ対策」「熱中症対策」などの講座を実施した。下半期頃から単発企画ではなく、継続的な教室として「うたごえ喫茶たかせ」を実施したところ、好評を得る事が出来た。今後も住民のニーズや社会情勢にあった企画立案を心掛けて開催していきたい。

【参加者の声(事業後アンケートより)】

- ・お友達と一緒に、普段なかなかできない体験ができてよかった。(健康体操 in 大島鉱泉)
- ・また参加したいです。(健康ウォーク)
- ・楽しいひと時ありがとうございました。久しぶりに声を出しました。(うたごえ喫茶たかせ)

4 今年度のまとめ(反省と評価)

評価	評価理由、主な取組み、頑張ったところ、残った課題等
4	<p>主催教室については単発企画のみならず、継続性のある内容を実施することができた。今後も身近な生きがいを得られる場、地域の交流の場として提供していきたい。</p> <p>各種共催事業についても、公民館だよりや地域団体と協力して発行した『たかせ小中かわら版』を活用し、参加できなかった住民への情報発信による啓発を図り、地域全体を巻き込むことができた。</p> <p>円卓会議で地域づくりセンター(公民館)の活用について様々な意見が出たことも地域へ周知したので、地域に寄り添ったセンターの運営、地域団体の支援を継続し、地域へ知らせていきたい。</p>

◎評価の基準：5=大変よくできた。4=よくできた。3=おおむねできた。

2=あまりできなかった。1=できなかった。